

事務連絡（安-2021-49）
令和3年12月21日

（配布先）

支店長・副支店長
施工担当部署長、建設所長
副部長、副所長、統括工事長
安全長・安全主任
工事長・工事主任
関西支店取引業者災害防止協議会

関西支店
安全環境部長

はしご昇降時の安全ブロックの正しい使い方について（要請）

先日、他支店の新築工事作業所において、鉄骨溶接部の超音波探傷検査を行う検査員（67歳・事業主）が大梁の検査を行うため、昇降用のはしごからコラムステージへ移動しようとしたときに足を滑らせ、1.9m下の鉄骨梁上に転落し足の骨を折るという休業災害が発生しました。（別紙1参照）

被災者は、フルハーネス型安全帯を着用のうえ、はしごにセットしてあった安全ブロックを使用していましたが、安全ブロックのフックをランヤードのフックに取り付けていたため、ショックアブソーバが伸び始めたところで足が下階に到達してしまったものです。安全帯を使用していたにもかかわらず、このような災害が発生したことは、たいへん悔やまれます。

つきましては、同種災害の再発防止を図るため、はしご昇降時の安全ブロックの正しい使い方について、下記事項を厳守するよう作業所関係者に周知してください。

又、12月に関西支店においても、梯子盛替中の転落や不適正な梯子の使用による災害が発生しています。梯子の適正使用の徹底を指示します。（別紙3、4参照）

記

- ・はしごの昇降時に安全ブロックを使用するにあたり、そのフックは、フルハーネス型安全帯の場合は連結ベルトに、胴ベルト型安全帯の場合はD環に直接取り付けて使用すること（別紙2参照）

以 上

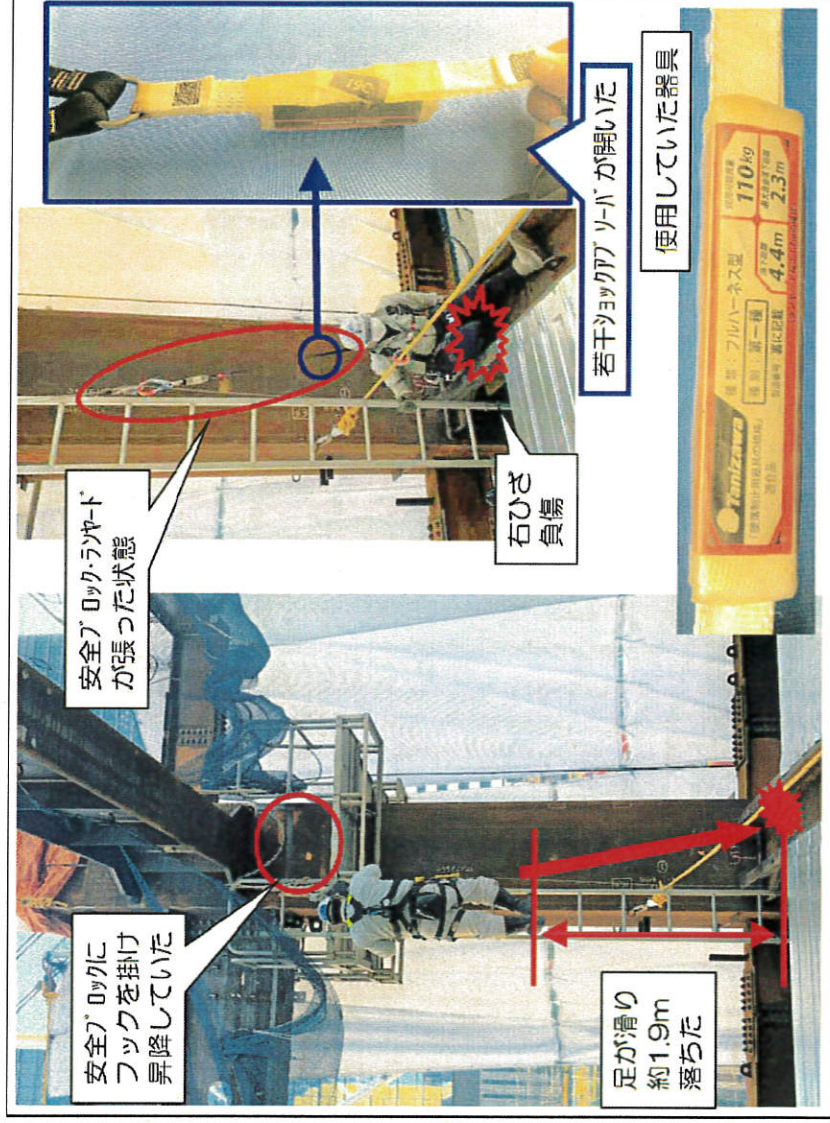
※この事務連絡は、事務連絡21-40（令和3年12月15日）安全環境本部発行に基づき作成しました

(転 落)

鉄骨溶接部の検査員がはしごからコラムステージに移動しようとしたとき転落

◇ 発生日時 : 2021年12月10日 (金) 午後2:15分頃 (事業主・統計外)

◇ 被災者 : 検査員 67 歳 (所属 1次) 経験 45年8ヶ月

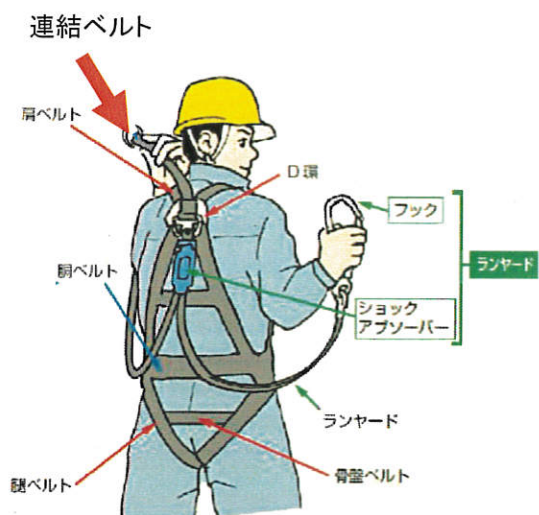


【発生状況】

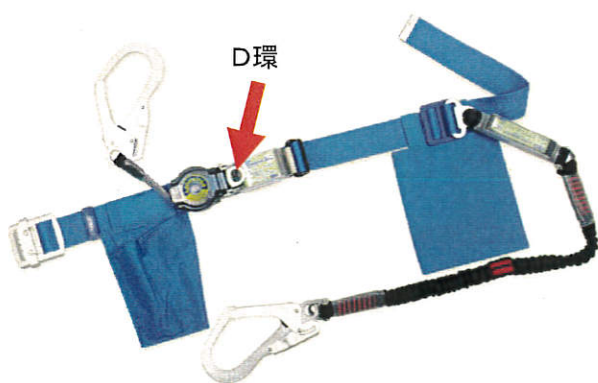
3階大梁鉄骨のUT検査を行うため、はしごからコラムステージへ移動しようとしたときに、足を滑らせ2階鉄骨梁の上に約1.9m転落した。安全ブロックのフックをランヤードのフックに掛けていたため、安全ブロックが効いたものの、ジョッキアブソーバが伸び始めたところで2階鉄骨梁上に着地し、右膝を負傷した。

(右頸骨高原骨折) (休業見込日数 21 日)

■フルハーネス型安全帯



■胴ベルト型安全帯



災害速報

立坑昇降タラップ取外し時に、タラップが頭部に接触し裂傷

(右前額部挫創)

【特別加入・不体災害】

工事所在地

工 期 R2.6 ～ R5.3

工 事 長

工事名称

請 負 金 46 億 5,915 万円

工事主任

TEL: (-) Fax: (-)

発 生 日 時	災 害 ・ 事 故 発 生 状 況	経 験 年 数
R3 年 12 月 10 日 (金)	8:30 朝礼 立坑内にてKY実施 鉄筋組立の準備作業と立坑の清掃作業を開始。	22 年 7 ヵ月
1 次 業 者 名	18:00頃 他業者の立坑清掃作業が完了後、残業にて次工程 (鉄筋組) の支障となる昇降設備の盛替に着手。	作 業 所 勤 務 日 数
兼喜会 ☒ 会員 ☒ 加入 ☒ 加入	18:50頃 作業用梯子の3段目 (1.2m) に立って、昇降タラップ (約10kg) の取外しを行っていた際、	390 日
災防協 ☒ 加入 ☒ 加入	タラップが外れたと同時にタラップ重量によりバランスを崩して、タラップと共に倒れ込んだ。	当該作業関係労働者数
互助会 ☒ 加入 ☒ 加入	その際にタラップの端部が頭に当たり、右側の額の部分を裂傷した。(作業は一人で行っていた)	5 名
雇用業者名 (次)	19:00 自力で立坑上まで上がり、止血を行う。 頭部の怪我であることから救急車を要請。	(被災者所属グループの人数を記入)
職種 (職 長)	19:15 救急車が到着。応急手当を行う。	家 族 構 成 な ど
受 傷 部 位	20:00 病院に救急車が搬送。	妻
右前額部	20:09 病院に到着。診察、治療を開始。	
工 程 進 捗 状 況	21:00 治療、処置完了。現場事務所に戻る。翌日からの就業は可能の見込み。	
	立坑h=8m 昇降ライナータラップ 作業梯子 (h=2.0m) はタラップとは別のところ固定していたため倒れていない 取外したタラップ	
	JV状況	病 院 名
	発注者	△△病院
	その他の記事	TEL
	レントゲン及びCT検査の結果、頭部に異常なし。 5 針縫合。 翌日の再診にて縫合部経過良好を確認。 診断は「右前額部挫創」 就業に支障なしとの診断。 13日 (月) は通常業務就労確認。	

全体工期進捗 - 42 %

会 社 社 長

副 社 長

本 部 長

安全環境本部 (月 日)

部署印座

No.47

部門 関西支店

部署 工部 営業所

災害速報

別紙4

タラップ昇降時、足を踏み外して転落

略称

工事所在地

工事名称

TEL: ()

Fax: ()

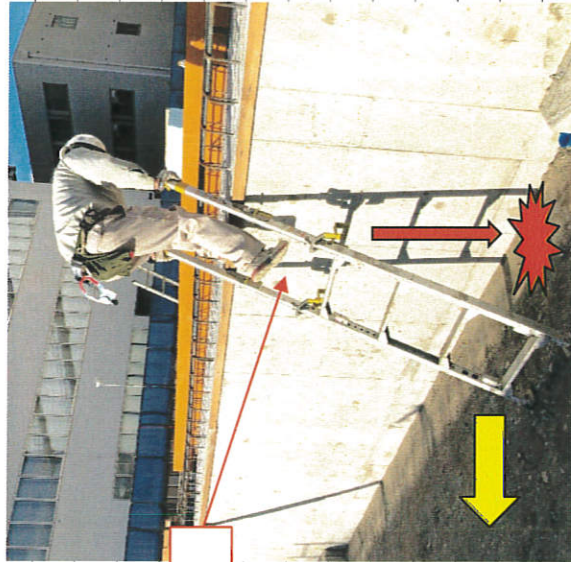
工期 21.7 ~ 22.11

請負金 54 億 9,000 万円

工事長

工事主任

発生日時	災害・事故発生状況	経年数
2021 年 12 月 13 日(月) 午前 11 時 45 分頃	スラブコンクリート打設前の地中梁上で(ピット底から高さ1650mm)、設置した地中梁貫通スリーブを確認するために地中梁上から梯子で降りる際に梯子の横棧が無い所で右足を踏み外し、踏みぬいた状態で、ハシゴもズレた為、右足をそのままピット底について損傷した。	37 年 5 カ月
被災者氏名(ふりがな)		作業所勤務日数
()		29 日
所属及び職種		当該作業関係労働者数
1次業者名		8 名
兼喜会 員 会 員 非 会 員		(被災者所属グループの人数を記入)
災害協 加入 未加入		家族構成 など
互助会 加入 未加入		妻
雇用業者名 (2 次)		
職種(給排水衛生工)		
受傷部位	その他の記事	病院名
右足捻挫		△△病院
工程進捗状況		TEL



横棧が無い

現在の主工事
基礎埋戻しスラブ型枠
全体工期進捗 15 %

会社 社長 副社長 本部長

安全環境本部
(月 日)

部署印座